県内最大部数の上毛新聞
ぜんぜん分かる？
こんなこと聞いて、くだらないとはわかっているけど、あの人はエレベーターでどこへ行くの？
解答はこのページ

2003年 8月18日 月曜日
上毛スポーツ JOMO SPORTS NEWS

SPORTS 大好き

プロ選手にあこがれて、4歳の時に始めました。僕はんだことは、個人の技術力とチームの連携プレー。これからも、みんなに迷惑がかからないように、基礎練習をしっかり積んで、ミスのないプレーができるように頑張ります。

サッカー 佐藤 将樹君（館林五小5年）

# 大会新でV2 貴田 高北

## 競泳女子400M自由 長崎インターハイ 会心の逆転勝利

【長崎＝小沢記者、関口カメラマン】全国高校総合体育大会（インターハイ）第18日は17日、長崎市民総合プールなどで水泳競技を開始した。県勢は女子四百メートル自由形で貴田裕美（高崎北）が4分13秒92の大会新で2連覇。同二百メートル個人メドレーで新井ゆかり（共愛学園）が準優勝、男子四百メートル自由形では内田翔（高崎商）が3位に入った。男子二百メートル平泳ぎは、高崎経済大付属の佐藤佑が3位。また、水球の前橋商が初戦を突破し、8強入りを果たした。

関連記事 21面

4分13秒92。大会新記録が電光掲示板に表示されると、客席からどよめきが沸き起こった。女子四百メートル自由形決勝、貴田裕美（高崎北）3年は会心のレースで、自己ベストを0秒11更新。2連覇を達成。「素直にうれしい」と声を弾ませた。後半、逆転しての勝利。

女子400メートル自由形決勝 大会新の4分13秒92をマークし連覇を飾った貴田裕美（高崎北・上）と表彰状を掲げ応援席に笑顔で応える貴田＝長崎市民総合プール

「自分のペースを守って、後半に勝負をかける」とじっと我慢。2位につけ、そして、200メートルのターンで、2位に浮上。じわじわ差を縮め、スッと抜き去り、残り150メートルでトップに躍り出た。ゴールまで通過、それからは、2位以下を寄せつけず、トップでゴールした。「こういうレースが、ずっとしたかった」と会心の笑みを浮かべた。

一昨年、高校1年生として世界水泳の代表に選ばれ、一躍注目を浴びたが、しばらく納得のいく泳ぎができなかった。今年4月の日本選手権は、4分14秒03の自己新をマークしたが、

## 子200M人メドレー 新井ゆかり（共愛学園） 自己新2位

女子二百メートル個人メドレーは、新井ゆかり（共愛学園）1年が、自己記録を一秒縮め、2分18秒16で準優勝した。「ベストの更新」と笑顔。スタート直後はスピードに乗れず、50メートルを6位で折り返したが、「一番得意」という背泳ぎで一気に3人まで抜き去り、3位につけた。さらに、次の平泳ぎで2位に浮上した。粘ってそのまま2位を守り、自己ベストを0・11秒更新した。

スタート直後はスピードに乗れず、50メートルを6位で折り返したが、「一番得意」という背泳ぎで一気に3人まで抜き去り、3位につけた。さらに、次の平泳ぎで2位に浮上した。粘ってそのまま2位を守り、自己ベストを0・11秒更新した。

従来の自己記録は、今年4月の日本選手権準決勝で2分18秒16を出した。

女子200メートル個人メドレー決勝　自己ベストの2分18秒16で堂々の2位入賞を果たし笑顔の新井ゆかり（共愛学園）＝長崎市民総合プール

# 松原 藤岡 歓喜の初優勝

## 県オープンゴルフ

6アンダー66

賞金総額640万円、優勝賞金130万円をかけた2003県オープンゴルフ選手権（県、県ゴルフ連盟主催）が17日、玉村町の新玉村ゴルフ場（6913ヤード、パー72）でプロ50人、アマチュア130人の計180人が

プロ（藤岡市、北関東支部コンプリー所属）が6アンダーの66ストロークで初優勝した。ベストアウトを2アンダー70ストロークをマークした工藤利明（藤岡市）が初の栄冠をつかんだ。

関連記事 21面

## 10年連続出場 地元で快進撃

94年から10年連続出場のプロ10年目の松原東樹が2位に2打差をつけて初優勝を飾った。

アウトスタートの前半は、2番セカンドショットをバンカーに入れたが、サードショットをピンそば2メートルにピタッとつけ、パットを難なく沈め初のバーディーを奪った。「ショットが良かったと言うように、その後もグリーンを常にとらえた。しかし、パットがいまひとつ。我慢のゴルフで前半を首位に3打差の36ストロークで折り返した。

2位に2打差をつけて初優勝した松原＝玉村・新玉村ゴルフ場

後半に入ると、出だしのプロ10年目の松原東樹が2位に2打差をつけて初優勝を飾った。

アウトスタートの前半は、2番セカンドショットをバンカーに入れたが、サードショットをピンそば2メートルにピタッとつけ、パットを難なく沈め初のバーディーを奪った。「ショットが良かったと言うように、その後もグリーンを常にとらえた。しかし、パットがいまひとつ。我慢のゴルフで前半を首位に3打差の36ストロークで折り返した。

2位に2打差をつけて初優勝した松原＝玉村・新玉村ゴルフ場

## 高校野球 雨で順延 桐一あす決戦

マシン練習に汗

○…根岸第二ナインは17日、バッティングセンター「ボンバー」で、マシン（準硬式球）を相手に2時間余り汗を流した。

時速110キロのコーナーに入った中軸の勝田智行は、逆ハンドルにダイエーグが合わず、仲間からやかされたが、2回目以降は鋭い当たりも飛ばした。

高校野球選手権大会10日目は雨のため中止となり、明治神宮第二球場で行われる予定だった第80回全国